

## ●シリーズ概要

「群馬ラリーシリーズ」は、初心者から上級者まで幅広く楽しめる開催を目指しています。2026 年も例年通り全 5 戦を開催し、JMRC 関東ラリーカップのポイントも同時に取得できます。全てのラリーが、公道を閉鎖したスペシャルステージ（以下 SS）で構成され、速いクルーが上位成績を残すことができる競技会で、初心者の方でもラリーの醍醐味を満喫できる設定です。また将来、上級イベントにステップアップする場合に必要なラリー全般の基礎技術を習得するのに最適なイベントです。

また、2026 年も 3 月頃（日程検討中）にラリーセミナーを開催し、座学や実技で SS ラリーの正しいルールを包括的に学ぶ機会を設けることを予定しています。詳細は決まり次第、シリーズホームページでご案内します。

## ●2026 年 群馬ラリーシリーズカレンダー

	開催日時	大会名称	主催クラブ	格式	場所・距離	路面
第1戦	4/18	<b>MSCCラリー in MIKABO 2026</b>	マツダスポーツカークラブ	D	群馬県内 150km	ターマック
第2戦	5/16	<b>ネコステ山岳ラリー2026</b>	ネコステラリーチーム	C	群馬・埼玉 180km	ターマック
第3戦	7/4	<b>Play-Stageラリー</b>	プレステージモーター スポーツクラブ	D	群馬県内 250km	ターマック
第4戦	9/12～13	<b>あさま隠山岳ラリー2026</b>	オートスポーツクラブ あさま隠	C	吾妻郡 200km	ターマック
第5戦	10/3～4	<b>第72回チームif山岳ラリー</b>	オートスポーツクラブイフ	D	嬭恋村 190km	ターマック

※イベント内容・路面については、変更が入る可能性があります。各大会の特別規則書を確認して下さい。

## ●連絡先一覧

	クラブ名	担当者	TEL	FAX	携帯	メール/備考
第1戦	MSCC	後藤 茂行	—	03-3778-1230	090-3139-0923	msccrally@mazdasportscarclub.jp
第2戦	NECOSTE	高野 啓嗣	049-277-2005	049-277-2006	090-3085-2071	bsf_taka@yahoo.co.jp
第3戦	PRESTIGE	青柳 要一	—	—	090-3518-6745	sutou@peach.ocn.ne.jp (須藤)
第4戦	あさま隠	片貝 努	0279-67-2425	0279-67-2425	090-8894-4684	katakai@xp.wind.jp
第5戦	チームイフ	篠原 悦男	0276-74-2356	0276-72-7243	090-8941-0981	fwhw5937@gmail.com

※電話連絡については、常識のある時間帯をお願いします。

### ●競技会規則

本競技会は日本自動車連盟（JAF）公認の基にFIA国際モータースポーツ競技規則ならびにそれに準拠した2026年JAF国内競技規則および2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則、2026年群馬ラリーシリーズ統一規則および各競技会特別規則にしたがって開催される。

### ●参加資格

1. 1台の車両に乗車する定員はドライバー、コ・ドライバーの2名（以下クルー）とし、2026年のJAF国内競技運転者許可証B（国内Bライセンス）以上の所有者でなければならない。
2. 20歳未満の者が参加する場合には、親権者の承諾を必要とする。
3. **2021年以降の全日本選手権でシリーズ3位以上に入賞したドライバーは、原則としてエキスパートクラスでの参加とする。ただし該当者は運営委員会で協議することとする。**  
**なお、エキスパートクラス設定の有無は各競技会によるので、主催者に確認のこと。**

### ●参加料

1. 1台につき 40,000円～55,000円程度を予定（宿泊を伴うイベントは宿泊費を上乗せする場合がある）。
2. クルーがJMRC加盟クラブに加入していない場合は、1名につき5,000円を増額する。
3. JMRC加盟クラブに加入していることの証明は、2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則のフォーマットを利用し、エントラント自ら証明すること。または、JMRC関東スポーツ安全保険加入証またはJMRC関東見舞金制度加入証（ラリー共済ではない）の有効年度の加入証のコピーを添付でも可能とする。

詳細は各競技会特別規則書に明記される。

### ●ラリー保険の加入

2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第3章 第13条 に準ずる。

各任意保険および各共済を申込する場合の参加申込〆切期限は、通常の参加申込〆切期限よりも早いことがあるので注意すること。

主催者が当該競技会に有効な任意保険を紹介する場合がある。詳細は各競技会の特別規則書を参照すること。

JMRC関東スポーツ安全保険およびJMRC関東見舞金制度に加入できない場合は各主催者が団体加入を行う。但し、各競技会特別の規則書等で記載の〆切日程を厳守すること。〆切日程を過ぎた場合は加入できない。

詳細は各競技会の特別規則書を参照すること。

### ●参加車両及び安全装備

**※シートベルトの装着においては事前にドライバー、コ・ドライバーの装着具合を確認しておくこと。**

1. 参加できる車両は、2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第2章 第2条 に準じた車両とする。
2. 参加車両は6点式以上のロールバーを装着することを義務とする。更に、乗員保護を目的とする追加バーの装着を強く推奨する。ロールバー及び追加バーの取付け要項は、2026年JAF国内競技車両規則第1編、第2編の安全規定におけるロールバーまたは、ロールケージの項を参照し取り付けること。

なお、ロールバーまたはロールケージに、ロールバーパッド以外のものが取り付けられており安全性に懸念が見受けられた場合は、技術委員長の判断にて取り付け方法の変更または取り外しを指示する場合がある。

また、安全ベルトは 2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第2章 第6条に準ずる。

なお、2026年JAF国内競技車両規則 第2編ラリー車両規定 第2章 安全規定 第3条に合致したものの装備を強く推奨する。 **頭部および頸部の保護装置（FHRシステム、HANS等）対応の肩ベルトの装備を強く推奨する。** 安全性の観点から、シートベルトに裂傷が認められるものを使用している場合は、競技会への参加を拒否することがある。

※2026年JAF国内競技車両規則に準拠し、Y字レイアウトの胸部拘束用ベルトの使用は禁止する。

シートベルトの取付けは、2026年JAF国内競技車両規則第5編 細則ラリー競技およびスピード競技における安全ベルトに関する指導要綱に準拠し取り付けること（アイボルトは既存のシートベルト取り付け部に装着することを強く推奨する。 また、シートレールに追加された部位への装着は不可とする）。

2026年群馬ラリーシリーズでは引き続きシート／シートベルトの取付け方法、車室内の積載物の固定方法について、厳重に確認する。

### 3. **けん引用穴あきブラケット**

2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第2章 第9条 に準ずる。 **取り付け場所が視認できない場合は、黄色・赤色またはオレンジ色の矢印で穴あきブラケットの位置を示すこと。**

### 4. 装備品

4.1. 2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第4章 第19条 2) に準ずる。 また、シートベルトカッター2個の装備を推奨する。 AE車両については、耐電手袋を搭載することを推奨する。 **なお、OK／SOSボード・非常用停止表示板・非常用信号灯は各乗員が着座状態で取り出せる位置に装備すること。**

消火器は金属製ラビッドリリースメタル（ワンタッチ金具）での装着が認められる（最低2個所で装着することを推奨する）。 乗員が容易に取り外しできる位置に取り付けること。 **消火器の溶剤の点検期日（充填日もしくは前回点検日から2年）と、容器の耐用期限（国内競技車両規則に準ずる）は違うのでよく確認のこと。**

4.2. 2026年群馬ラリーシリーズでは、トラッキングシステムアプリ「RallyStream」の使用を予定している。 当日使用する通信機器（スマートフォン（Android OS、iOS））を用意すること。 対応端末やアプリの詳細は、RallyStreamのホームページを参照のこと。 (<https://www.rallystream.net/competitor/competitors-guide>)

### 5. クルーの安全装備

2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第4章 第19条 1) に準ずる。 **頭部および頸部の保護装置（FHRシステム、HANS等）の装着を義務とする。**

### 6. 騒音公害防止上の音量規制

2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第2章 第7条 に準ずる。 詳細については各競技会の特別規則書を参照し、著しく音量の大きい車両は各競技会主催者より参加を拒否される場合がある。 **また各競技会の車検において排ガス測定を行う場合がある。**

## 7. ホイールおよびタイヤ

2026 年 JMRC 関東・JMRC 東北ラリー統一規則 第 2 章 第 4 条および第 5 条に準ずる。

**※この規則はタイヤサイズの太い物を選択する事を推奨するものではない。 また、舗装タイヤの縦溝規定等に抵触する可能性のある、いわゆるグラベル用ラリータイヤの使用を制限することはない。**

使用タイヤについて、各主催者に確認のこと。 また、いかなる場合でもスリップサインが出ているタイヤの使用は禁止する。

## 8. リストリクター

2026年群馬ラリーシリーズでは、リストリクターの装着の義務化は行わない。

## 9. 補助灯

2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第 2 章 第 8 条 に準ずる。

## 10. 附則

本シリーズ統一規則書の記載内容において疑義が発生した場合は、シリーズ運営委員会にて対策を検討し方針決定をする。

## ●クラス区分

2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第2章 第3条 に準ずる。

オープンクラスおよびエキスパートクラス：

各競技会特別規則書により上記以外のクラスを設定できるが、その部門への参加の場合はシリーズ表彰対象外とし、シリーズポイントは与えられない。 なお、参加車両は上記記載の参加車両規則に従っていること。 クラス区分については各戦の主催者により、各競技会特別規則書に記載する。 表彰については各戦の主催者の判断に従う。

## ●賞典

各クラス 1～3 位、JAF メダル、または楯、副賞。 その他賞典及び賞典の内容は各競技会特別規則書にて示す。

## ●シリーズポイント及び表彰

### 1. シリーズポイント

シリーズポイントは各クラス共ドライバー、コ・ドライバーに対し、表のとおりポイントを与える（参加台数に関わらず同様のポイントとする）。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Pt	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1

### 2. 有効戦数及び最低参戦数

全戦のポイントを有効とし、同一クラスにおいて最低 2 戦以上参戦した場合にシリーズ表彰対象とする。

### 3. クラス成立

各クラス 1 台から成立するものとする。

### 4. シリーズ成立

2戦以上開催された場合にシリーズ成立とする。

## 5. シリーズ表彰

シリーズ表彰は各クラスにおいてドライバー、コ・ドライバー両部門を原則 6 位まで表彰する。

複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、

- ① 参加回数の多い者
- ② 完走回数の多い者
- ③ 上位回数の多い者
- ④ その上位を早く獲得した者
- ⑤ 群馬ラリー部会主催のラリーセミナー参加実績

の順で決定する。

その他疑義が発生した場合はシリーズ運営委員会が決定をする。

### ●シリーズ表彰式

2026年度のシリーズ表彰は別途、告知する。

### ●練習走行・下見走行の禁止

公道での練習走行（管轄の警察署から道路使用許可を受けて実施する走行会等の場合は除く）及び、競技車両と見られる車両での下見走行を禁止する。発覚した場合、群馬ラリーシリーズを含むJMRC関東地区のラリーシリーズすべてにおいて参加を拒否することがある。

### ●動画映像画像

2026年JMRC関東・JMRC東北ラリー統一規則 第5章 第22条 に準ずる。

### ●その他

マシントラブル等で動かなくなった方へ、有償になるガレッカーの紹介を行う。 料金は各主催者に問い合わせのこと。

なお、目安として2025年のある一例では林道内→サービスパーク¥20,000-だったが、引き上げにかかる人件費や距離ほか条件によって変動する。

### ■2026年群馬ラリーシリーズ運営委員会

運営委員長	福村 幸則	JMRC群馬ラリー部会長	fukumura@togiya-kk.co.jp
運営委員	青木 正人	あさま隠	freshsalmon141@gmail.com
運営委員	青柳 要一	プレステージ	dave-yajisan@ezweb.ne.jp
運営委員	後藤 茂行	MSCC	msscrally@mazdasportscarclub.jp
運営委員	篠原 悦男	チーム i f	fwhw5937@gmail.com
運営委員	高野 啓嗣	ネコステ	bsf_taka@yahoo.co.jp
運営事務局長	小野寺 奈央	JMRC群馬ラリー副部会長	onodera.nao@gmail.com
運営事務局	松岡 淳	TAG	tatunosuke@hotmail.com
運営事務局	藤田 充宏	JMRC群馬ラリー副部会長	mittan.f@gmail.com

### ■事務局

2026年群馬ラリーシリーズ事務局

Tel: 090-5790-8813（事務局長 小野寺奈央）

e-mail: info@gunma-rally.com

以上